


山田 雅彦

やまだ まさひこ / Yamada Masahiko

<p>所属・役職</p>	<p>(一財) 世界遺産白川郷合掌造り保存財団 事務局長</p>	
<p>活動拠点</p>	<p>飛騨地域内</p>	
<p>略歴</p>	<p>1999年 高山市役所入庁。 2008年 電通(株)本社へ研修派遣。 2022年 デジタル推進担当監就任。 2023年 高山市役所退職。 2025年 (一財)世界遺産白川郷合掌造り保存財団 事務局長就任(現職)。</p>	
<p>こんなことを 支援できます</p>	<p>①AI活用・データ利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AIカメラによる人流量・属性データの計測・分析・利活用に関する相談。 ・AIを活用した観光客入込予測・混雑可視化の導入支援。 ・データ活用をテーマとしたワークショップの企画・運営支援。 <p>②産官学連携・ICT活用まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産官学連携協定の締結に向けた関係機関・庁内調整の支援。 ・ICT利活用事業への地元関係団体との調整と参加促進の支援。 <p>③ICT広報・情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電通での経験を活かした視覚的工夫・タイミングを意識した広報戦略の助言。 ・報道発表の勘所・メディア掲載実績を活かした効果的な情報発信支援。 	
<p>自治体向け メッセージ</p>	<p>どの自治体にも解決したくても着手できていない課題はきっとありますよね。少数職員・小規模予算の自治体こそICTや他団体に頼ってみるとよいのでは？無償トライアルから本格運用への展開を見据えた庁内の理解も得ながらの事業展開のコツと、報道発表の勘所などについて支援させていただきます。</p>	

<主な専門分野>※特に得意とする専門分野を3つまで掲載

- 観
- 観光
- 広
- ICT活用広報
- AI
- AI活用

<地域情報化に関する実績>

2009年～ 企画課（統計・広報等）、2012年～ 総務課・広報情報課にて情報システム・選挙・災害対応を担当（10年間）。

2020年～ 行政経営課にて指定管理・公共施設管理・ICT活用等を担当。2022年 デジタル推進担当監に就任。

2025年 同財団 事務局長就任（現在）。名古屋大学と連携しAIを活用した混雑予測・マナー啓発などを推進中